

森林再生

森林再生への展望

日時：平成23年11月19日（土） 13:00～15:00

講師：高野 雅夫（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）

概況



◎森林再生への展望

森林再生コースで受講してきた講義を振り返り、①このコースで学んだこと、②森林の現状をどう考えるか？③森林を再生するとはどういうことか？の3つのテーマについて、2グループに分かれ討議を行った。

①このコースで学んだこと

- ・森林の役割(命を育む、癒しの場、木材生産、水源涵養など)。
- ・森林は活用していかなければいけない、放置すれば、荒廃していく。
- ・林業作業は非常に大変であった。

②森林の現状をどう考えるか？

- ・決して良い状態とは言えない。
- ・外材の輸入が多く、国産材が使われない。
- ・労働者の高齢化が進み、労働力が不足している。
- ・活用すべき齢級の木が多くなっている。

③森林を再生するとはどういうことか？

- ・公共施設、介護施設を木造化する。
→低迷している国産材の需要を高める。
- ・林業を学校の必修単位に組み込む。

- 大学等を卒業後に1年林業に携ってもら制度をつくる(韓国の兵役のような...)。
- ・海岸沿いに植林をする。
 - 緑の再生とともに、津波の脅威を軽減させる。
- ・神社(鳥居等)を全て木造にする。
 - 木造化していない神社には初詣に行かない(お賽銭を入れない)。
- ・若い労働力を育てる。
 - 林業に従事すれば税金免除など、行政システムを変える。
- ・再生ではなく新生では？
 - 昔の良かった時代に再生するのではなく、今の時代背景合った森林を新たに生み出す。

森林をどう考えるか。即ち、木をどう考えるか。単なる木材と考えるか、それとも一つの命であると考えるか。例えば、福島第一原発の事故で、人間は人間の被曝のことを一番に考える。もちろん、我々人類も被害者であるが、一番の被爆の被害者は森林であり、そこを生活の場とする動物たち、つまり、生態系である。そういう視点で物事を考えれば、森林に対する考え方も自ずと変わるのでは？